

7月15日、須坂市動物園で小さな命が4羽誕生しました。南園で飼育している体長20センチほどのとても小さな鳥、ウズラです。なんと、当園ではそのウズラの自然繁殖による孵化に、今回初めて成功しました。

ウズラは、家畜化の歴史が長く、卵を孵す本能はすでに失われているといわれています。そのため、卵は産んでも、抱卵行動、孵化、育児までをおこなう個体は非常に珍しいです。

飼育員 日誌

長野・須坂市動物園



昨年から抱卵する行動が見られたため、自然繁殖にチャレンジすることにしました。飼育環境を自然に近づけるため、生の植物を導入した

自然繁殖に成功

り、刺激を与えないよう抱卵している付近はあえて掃除をしなかつたり、また、来園者の皆さまにも看板で「抱卵中」とお知らせし、温かく見守っていただきました。

この中でどれが成功につながったのかはわかりませんが、今回自然繁殖に成功したことは今後も生かしていきたいと思えます。今しか見られないかわいい姿—写真—をぜひ多くの方に見ていただきたいです。

(ウズラ担当 山口友里)

